

令和8年度 数学 I 年間計画

レポート							
学習の到達目標		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					
評価の観点							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			
単元	レポート	学習内容	コンテンツ (NHK高校講座の放送回)	スクーリング			
				平日	日曜		
第1章 数と式	第1節 数と式の計算	1 通目	1. 計算の基本 2. 単項式と多項式 3. 多項式の加法と減法	第1回～第10回	第1回 ・ 第2回	第1回	
		2 通目	4. 多項式の乗法 5. 展開の公式 6. 因数分解		第3回 ・ 第4回	第2回	
	第2節 1次不等式	3 通目	8. 根号を含む式の計算 9. 実数		第5回 ・ 第6回	第3回	
1. 1次方程式 2. 不等式 3. 不等式の解							
第2章 2次関数	第1節 2次関数のグラフ	4 通目	1. 関数 2. 1次関数のグラフ 3. 2次関数のグラフ(1) 4. 2次関数のグラフ(2)		第11回～第21回		第7回 ・ 第8回
	第2節 2次関数の値の変化	5 通目	1. 2次関数の最大値、最小値			第9回 ・ 第10回	第5回
		6 通目	2. グラフと2次方程式 3. グラフと2次不等式	第11回 ・ 第12回		第6回	

第3章 図形と計量	第1節 三角比	7通目	1. 直角三角形 2. 三角比 3. 三角比の利用	第22回～第31回	第13回 ・ 第14回	第7回
		8通目	4. 三角比の相互関係 5. 鈍角の三角比		第15回 ・ 第16回	第8回
	第2節 三角形への 応用	9通目	1. 正弦定理 2. 余弦定理 3. 三角形の面積		第17回 ・ 第18回	第9回
第4章 集合と命題		10通目	1. 集合 2. 集合と命題 3. 必要条件と十分条件	第39回・第40回	第19回 ・ 第20回	第10回
第5章 データの分析		11通目	1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばり	第32回～第38回	第21回 ・ 第22回	第11回
		12通目	3. データの散らばり 4. データの相関 5. 仮説検定の考え方		第23回 ・ 第24回	第12回

令和8年度 数学Ⅱ年間計画（前期）

レポ ー ト							
学習の到達目標		<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 複素数と方程式、図形と方程式、いろいろな関数、微分と積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統一的・発展的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>					
評価の観点							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
いろいろな式、図形と方程式、三角関数の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統一的・発展的に考察する力を身に付けることができる。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うようにする。			
単元	通数	学習項目	学習内容	コンテンツ	スクーリング回数		
					平日	日曜	
第1章 複素数と方程式	1 式の計算	1 式の展開と因数分解	3次乗法公式、因数分解について学ぶ。	NHK高校講座 数学Ⅱ 1～3	1	1	
		2 二項定理	パスカルの三角形について学ぶ。		2		
		3 分数式の計算	通分、約分など、分数式の計算を扱う。		3		
	2 複素数と方程式	1 複素数	虚数単位 i を導入し、数の拡張について学ぶ。	NHK高校講座 数学Ⅱ 4～5	4	2	
		2 2次方程式の解と判別式	拡張した数のもとで、2次方程式の解について考察する。		5		
		3 解と係数の関係	2次方程式の解と係数の関係について考察する。		6		
	3 複素数と方程式	3	1 整式のわり算	整式の除法を学び、それを用いた因数分解の方法を考察する。	NHK高校講座 数学Ⅱ 6～8	7	3
			2 因数定理	剰余の定理から因数定理を導き、それを用いた因数分解の方法を学ぶ。		8	
	式と証明	2	1 等式の証明	等式の証明を通し、論証について学ぶ。		9	
2 不等式の証明			不等式の証明を通し、論証について学ぶ。				
第2章 図形と方程式	4 点と直線	1 直線上の点	1次元での、直線の分点について考察する。	NHK高校講座 数学Ⅱ 9～12	10	4	
		2 平面上の点	2次元（平面上）での直線の分点について考察する。		11		
		3 直線の方程式	直線の方程式について考察する。		12		
		4 2直線の関係	垂直、平行の条件を考察する。				
円	5	1 円の方程式	円の方程式を考察する。	NHK高校講座 数学Ⅱ 13～16	13	5	
		2 円と直線	円と直線の交点を求める。		14		
		3 不等式と領域	座標平面上で、不等式の解を図示する。		15		
第3章 三角関数	6 三角関数	1 一般角	360° を超える角や負の角の意味を学ぶ。	NHK高校講座 数学Ⅱ 17～19	16	6	
		2 三角関数	三角比の拡張として、三角関数を導入する。		17		
		3 三角関数の相互関係	三角関数の間に成り立つ関係について考察する。		18		

令和8年度 数学Ⅱ年間計画（後期）

レポ ー ト							
学習の到達目標		<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 複素数と方程式、図形と方程式、いろいろな関数、微分と積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したし、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>					
評 価 の 観 点							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したし、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うようにする。			
単元	通数	学習項目	学習内容	コンテンツ	スリープ回数		
					平日	日曜	
第3章 三角関数	7	1 三角関数の性質	三角関数の対象性などを考察する。	NHK高校講座 数学Ⅱ 20～24	19	7	
		2 三角関数のグラフ	三角関数のグラフについて学ぶ。		20		
		3 加法定理	三角関数に関する公式を学ぶ。		21		
		4 弧度法	新しい角度の単位について考察する。		21		
第4章 指数関数	8	1 指数の拡張（1）	零乗や負の数の累乗について学ぶ。	NHK高校講座 数学Ⅱ 25～27	22	8	
		2 累乗根、指数の拡張（2）	累乗根の考察から、分数の指数を導入する。		23		
		3 指数関数のグラフ	指数が変数の関数について考察する。		24		
対数関数・対数関数	9	1 対数	累乗の逆の計算を考え、対数を導入する。	NHK高校講座 数学Ⅱ 28～31	25	9	
		2 対数の性質	対数の定義から導かれる性質について考察する。		26		
		3 対数関数のグラフ	対数関数のグラフの性質と概形を学ぶ。		27		
		4 常用対数	底が10の対数とその応用について学ぶ。		27		
第5章 微分法と積分法	10	1 平均変化率	放物線を例に、変化の割合について考察する。	NHK高校講座 数学Ⅱ 32～34	28	10	
		2 微分係数	平均変化率の極限値を考察する。		29		
		3 導関数	導関数の意味やその計算について学ぶ。		30		
		4 接線	微分の考え方をを用いて、接線を理解する。		30		
	11	1 関数の増減	導関数を用いて、関数の増加・減少を考察する。	NHK高校講座 数学Ⅱ 35, 37	31	11	
		2 関数の極大値、極小値	極大・極小の意味やその求め方を学ぶ。		32		
		3 関数のグラフ	極値を求めてグラフを描く方法を学ぶ。		33		
		4 関数の最大値、最小値	定められた区間における最大値・最小値の求め方を学ぶ。		33		
積分法	12	1 不定積分	積分の逆の計算として、不定積分を導入する。	NHK高校講座 数学Ⅱ 38～40	34	12	
		2 定積分	定積分の求め方を学ぶ。		35		
		3 定積分と面積	定積分と面積の関係について考察する。		36		

令和8年度 数学Ⅲ 年間計画（前期）

レポート							
学習の到達目標		<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>					
評価の観点							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
数学Ⅲにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。		式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして、極限を求める方法を考察することができる。また、関数の連続性と微分可能性、関数のグラフの形状とその導関数や二次導関数の関係について考察することができる。さらに、微分法と積分法の関係を基に図形の面積や立体の体積、曲線の長さを求める方法を考察できる。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。			
単元	通数	学習項目	学習内容	ITコンテンツ	スクーリング回数		
					平日	日曜	
第1章 関数と極限	関数	1 分数関数	分数関数の用語、グラフについて学ぶ。	分数関数	1	1	
		2 無理関数	無理関数の用語、グラフについて学ぶ。	2 無理関数	2		
		3 逆関数・合成関数	逆関数について学ぶ。弧度法について復習する。	3 逆関数・合成関数	3		
	数列の極限	2	1 数列の収束・発散 極限の性質	数列の極限の収束、発散を学ぶ。	数列の収束・発散 極限の性質	4	2
			2 等比数列の極限	等比数列の極限の収束、発散を学ぶ。	等比数列の極限	5	
			3 無限級数	公比の違いによる収束、発散を学ぶ。	無限級数	6	
	関数の極限	3	1 関数の極限	関数の収束、発散を学ぶ。	関数の極限	7	3
			2 いろいろな関数の極限	三角関数やいろいろな関数の極限を学ぶ。	いろいろな関数の極限	8	
	第2章 微分係数と導関数	4	1 関数の連続性	関数の連続性の定義を学ぶ。	関数の連続性	10	
			2 微分係数	導関数の極限の定義、微分の公式を学ぶ。	微分係数	11	
			3 導関数の計算	xのn乗の導関数を学ぶ。 積・商の導関数を学ぶ。	導関数の計算	12	
			4 合成関数・逆関数の微分法	合成関数・逆関数の微分の計算を学ぶ	合成関数・逆関数の微分法	12	
微分法	5	1 三角関数の導関数	三角関数の導関数を学ぶ。	三角関数の導関数	13	5	
		2 対数関数・指数関数の導関数	対数関数・指数関数の導関数を学ぶ。	対数関数・指数関数の導関数	14		
		3 高次導関数	第n次導関数を学ぶ。	高次導関数	15		
		4 曲線の方程式と導関数	曲線の方程式の導関数導関数を学ぶ。	曲線の方程式と導関数	15		
第3章 微分法の応用	6	1 接線・法線	接線・法線の方程式を学ぶ。	接線・法線	16	6	
		2 平均値の定理	平均値の定理を学ぶ。	平均値の定理	17		
		3 関数の増減と極大・極小	微分を使って関数の増減表、極大・極小を学ぶ。	関数の増減と極大・極小	18		

令和8年度 数学Ⅲ年間計画（後期）

レポート						
学習の到達目標		<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>				
評価の観点						
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
数学Ⅲにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。		式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして、極限を求める方法を考察することができる。 また、関数の連続性と微分可能性、関数のグラフの形状とその導関数や二次導関数の関係について考察することができる。 さらに、微分法と積分法の関係を基に図形の面積や立体の体積、曲線の長さを求める方法を考察できる。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。		
単元	通数	学習項目	学習内容	ITコンテンツ	スクーリング回数	
					平日	日曜
第3章	関数値の変化 7	1 曲線の凹凸と関数のグラフ 2 第2次導関数と極値	いろいろな関数の導関数まで計算し増減表から変曲点をもとめグラフを書く。	曲線の凹凸と関数のグラフ 第2次導関数と極値	19 20 21	7
		1 関数の最大・最小 2 方程式・不等式への応用 3 速度・加速度 4 近似値	微分を使って関数の増減表から最大・最小について学ぶ。 関数の増減から、不等式の証明や方程式の実数解の個数を学ぶ。 直線上や平面上を運動する点について、速度や速度の変化の様子を学ぶ。 さまざまな関数を1次関数で近似することを学ぶ。	関数の最大・最小 方程式・不等式への応用 速度・加速度 近似値	22 22 23 24	8
第4章	不定積分 9	1 不定積分 2 置換積分法 3 部分積分法	導関数の公式より、不定積分を学ぶ。 積分変数を置き換えた不定積分を学ぶ。 積の微分法を利用した不定積分を学ぶ。	不定積分 置換積分法 部分積分法	25 26 27	9
		1 いろいろな関数の不定積分 2 定積分 3 定積分の置換積分法	複雑な関数の不定積分を学ぶ。 定積分の計算を学ぶ。 置換積分法を使って定積分を学ぶ。	いろいろな関数の不定積分 定積分 定積分の置換積分法	28 29 30	10
積分法とその応用	定積分 #	1 定積分の部分積分法 2 定積分と微分の関係 3 定積分と区分求積法 4 定積分と不等式 5 面積	部分積分法を使って定積分を学ぶ。 定積分で表される関数の導関数を学ぶ。 区分求積法について学ぶ。 定積分を含む不等式の証明及び定積分の大小関係を用いた不等式の証明を学ぶ。 定積分を利用して、曲線や直線で囲まれた図形の面積を学ぶ。	定積分の部分積分法 定積分と微分の関係 定積分と区分求積法 定積分と不等式 面積	31 32 33	11
		1 面積 2 体積 3 曲線の長さ	定積分を利用して、曲線や直線で囲まれた図形の面積を学ぶ。 定積分を利用した立体の体積を学ぶ。 定積分を利用した曲線の長さを学ぶ。	面積 体積 曲線の長さ	34 35 36	12

令和8年度 数学A 年間計画

単元		レポート						
		学習の到達目標	場合の数と確率、図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。					
		評価の観点						
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		数学Aにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身につけることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。				
回	学習項目	学習内容	コンテンツ	平日回数	日曜回数			
第1章 場合の数と確率	第1節 順列・組合せ	1 集合	集合の表し方、用語、記号を学び、集合の考え方を理解する。共通部分、和集合、空集合の意味について図を用いて理解し、さらに表し方や記号について学ぶ。	場合の数 集合の要素の個数	1	1		
		2 集合の要素の個数	集合の要素の個数、特に補集合、和集合について、正しく個数を求める方法を学ぶ。		2			
		3 和の法則・積の法則	樹形図や表などを用いたり、数え上げを工夫することによって、基本的な個数の処理の仕方について学ぶ。また、和の法則や積の法則について具体例を用いて理解し、場合の数を効率よく求める方法を学ぶ。		3			
	2回目	4 順列	順列の意味を理解し、公式を用いて基本的な順列の総数の求め方を学ぶ。また、順列の考え方を活用して、条件のついた順列の総数の求め方や、重複順列や円順列の意味を理解し、総数の求め方を学ぶ。	順列 円順列 重複順列 組合せ	4 5	2		
		5 組合せ	組合せの意味や性質を理解し、公式を用いて基本的な組合せの総数の求め方を学ぶ。また、組合せの考え方をいろいろな場面に応用することにより、活用できることなどを学ぶ。		6			
	第2節 確率	3回目	1 事象と確率	試行と事象、事象の確率について学び、確率の意味を知り、基本的な確率を求めることができることを学ぶ。	組合せ 事象と確率 確率の基本的性質	7	3	
			2 確率の計算	場合の数をもとに、確率を求めることができる。また、身近な事例をもとに、少し複雑な確率の計算について学ぶ。また、確率の加法定理を理解し、排反事象に分けて確率を求める方法を学ぶ。		8 9		
		4回目	3 独立な試行と確率	余事象について学び、確率を余事象を利用して求める方法を学ぶ。また、簡単な独立な試行の確率を求める方法や、反復試行について理解し、簡単な場合の反復試行の確率を求める方法を学ぶ。	独立な試行の確率 反復試行の確率 条件つき確率	10 11		4
			4 条件付き確率	ある事象が起こるか起こらないかによって、別の事象の確率が変化する場合についての確率を求める方法を学ぶ。		12		
			5 期待値	確率変数の、確率を重み付けた平均について学ぶ。				
	課題学習	課題学習	確率の内容について、日常・数学の事象から、課題を見出し、解決することを通して、数学への興味・関心を高め、数学が活用できる有用性を学ぶ。					
	第2章 図形の性質	第1節 平面図形	1 図形の基本	図形の基本的な性質や、三角形と比についての性質を利用して、角の大きさや線分の長さを求める方法を学ぶ。	三角形の辺と比 三角形の外心、内心、重心	13	5	
			2 角の二等分線と線分の比	三角形の内角の二等分線と線分の比の定理を用い、三角形の辺の長さを求める方法を学ぶ。		14		
			3 三角形の外心・内心・重心	三角形の中線、辺の垂直二等分線、角の二等分線の性質を考察し、外心・内心・重心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求める方法を学ぶ。				
			4 円周角の定理	円周角の定理を利用して角の大きさを求める方法や、円周角の定理の逆を利用して、4点が同一円周上にあるかどうかを判断する方法を学ぶ。		15		
6回目		5 円に内接する四角形	円に内接する四角形の性質と四角形の内接条件の定理を理解し、それらの定理を利用する方法を学ぶ。	円に内接する四角形 円と直線 方べきの定理 2つの円の位置関係 直線と平面 多面体 作図	16	6		
		6 円の接線	接線と弦のつくる角の定理を利用して、角の大きさを求める方法を学ぶ。					
		7 方べきの定理	円と2本の直線がつくる線分の長さの関係を考察し、方べきの定理が成り立つことを理解し、長さを求める方法を学ぶ。					
		8 2つの円	2つの円の位置関係と、2つの円に共通する接線の数について考察し、位置関係や接線の数を求める方法を学ぶ。					
		1 空間の直線、平面	空間における2平面の位置関係やなす角、さらに直線と平面の位置関係などを求める方法を学ぶ。		17			
2 正多面体	平面だけで囲まれた立体である多面体において、特に正多面体について学ぶ。							
9 作図	作図	三角形の外接円や内接円および接線など、基本的な作図法を学ぶ。	18					

レポート提出目標

平日 1回目…5月下旬 2回目…6月下旬 3回目…7月下旬 4回目…10月中旬 5回目…11月中旬 6回目…12月中旬
日曜 1回目…5月下旬 2回目…6月下旬 3回目…7月下旬 4回目…10月中旬 5回目…11月中旬 6回目…12月中旬

令和8年度 数学B 年間計画

レポート							
学習の到達目標		数列, 統計的な推測について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 数学と社会生活の関係について認識を深め, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。					
評価の観点							
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と社会生活との関わりについて認識を深め, 事象を数学的に表現・解釈したり, 数学的に処理したりする技能を身に付けるようにする。	確率的な変化の規則性に着目し, 事象を数学的に表現し考察する力, 確率分布や標本分布の性質に着目し, 母集団の傾向を推測し判断したり, 標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力, 日常の事象や社会の事象を数学化し, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			
単元	回数	学習項目	学習内容	ITコンテンツ (マイページ)	スクーリング		
					平日	日曜	
第1章 数列	1	1 数列	数列とその一般項について, 具体的な例を通して学ぶ。	等差数列とその和	1	1	
		2 等差数列	等差数列の意味, 一般項について学ぶ。		2		
			等差数列の和について学ぶ。		3		
	2	1 等比数列	等比数列の意味, 一般項について学ぶ。	等比数列とその和	4	2	
		2 等比数列の和	等比数列の和について学ぶ。		5		
		3 和の記号Σ	記号Σの意味について学び, その性質・公式を使った計算を理解する。	和の記号Σ	6		
	漸化式と数学的帰納法	3	1 階差数列	規則性を調べながら, 数列の一般項について考察する。	階差数列	7	3
			2 漸化式と一般項	漸化式から一般項を求める方法について考察する。	漸化式と数列	8	
			3 数学的帰納法	証明の1つ方法として, 数学的帰納法について考察する。		9	
第2章 統計的な推測	4	1 確率	確率の基本的な性質を理解する。	確率	10	4	
		2 確率分布	確率変数の期待値の意味を理解する。		11		
			確率変数の分散, 標準偏差の意味を理解する。		12		
	5	1 二項分布	二項分布について理解する。	二項分布	13	5	
			二項分布に従う様々な確率変数について考察する。				
		2 確率密度関数	確率分布をグラフで表し, グラフから確率を読み取って考察する。	確率密度関数と正規分布	14		
		3 正規分布	正規分布表を用いて確率を求める。		15		
	4 二項分布と正規分布	二項分布が正規分布で近似できることを理解し, 二項分布に従う確率変数について, 確率を求める。					
	統計的な推測	6	1 母集団と標本	統計に関する用語を理解し, 無作為抽出について学習する。	母集団と標本	16	6
			2 母平均の推定	標本平均・標準偏差と母平均・母標準偏差の関係について理解する。	母平均の推定	17	
信頼度95%の信頼区間の意味を理解し考察する。							
3 仮説検定	仮説検定の考え方を理解する	仮説検定	18				

レポート提出目標

1回目・・・6月上旬 2回目・・・6月下旬 3回目・・・7月下旬 4回目・・・10月下旬 5回目・・・11月下旬 6回目・・・12月下旬

令和8年度 数学C 年間計画

レポート								
学習の到達目標		ベクトルまたは複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。						
評価の観点								
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		数学Cにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	数学Cの知識に基づいて、さまざまな事象を図形による表記や表現なども用いて、数理的に思考、判断し、表現することができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。				
単元	通	学習項目	学習内容	コンテンツ	スクーリング 平日			
第1章 平面上のベクトル	ベクトルとその演算	1	1 ベクトルの意味	ベクトルの意味を学ぶ。	classiの数学Cのベクトルの基礎コースの動画を視聴 1. 平面上のベクトル 2. ベクトルの演算 3. 平面上のベクトルとその演算/ベクトルの成分 4. 平面上のベクトルとその演算/ベクトルの内積	1		
			2	2 ベクトルの演算		ベクトルの和について学ぶ。 ベクトルの差・実数倍の作図等について学ぶ。	2 3	
		2	3	3 ベクトルの成分		ベクトルの成分の意味、成分によるベクトルの計算について学ぶ。	4	
			4	4 ベクトルの内積		ベクトルの内積について学ぶ。 ベクトルの内積の性質について学ぶ。	5 6	
	平面図形とベクトル	3	1	1 位置ベクトル		位置ベクトルの意味を理解し、分点の位置ベクトルなどについて学ぶ。	classiの数学Cのベクトルの基礎コースの動画を視聴 5. ベクトルと平面図形/位置ベクトル 6. ベクトルと平面図形/ベクトルと図形 7. ベクトル方程式	7
			2	2 ベクトルの図形への応用		ベクトルの平面図形における応用について学ぶ。		
	第2章 空間のベクトル	空間のベクトル	3	2		2 空間ベクトルの演算と成分	平面上のベクトルを基に、空間ベクトルについて学ぶ。	classiの数学Cのベクトルの基礎コースの動画を視聴 8. 空間の座標 9. 空間のベクトル 10. 空間のベクトル/ベクトルの成分 11. 空間のベクトル/ベクトルの内積 12. 空間のベクトル/位置ベクトル 13. 空間のベクトル/ベクトルと図形 14. 座標空間における図形
3				3 空間のベクトルの内積	空間ベクトルの内積について学ぶ。			
5				5 ベクトルの空間図形への応用	空間図形における垂直なベクトルについて学ぶ。			
第3章 複素数平面	複素数平面	4	1	1 複素数	複素数について学ぶ。	classiの数学Cの複素数平面の基礎コースの動画を視聴 1. 複素数平面	10	
			2	2 複素数平面	複素数の座標平面の表し方を学ぶ。			
		5	3	3 複素数の極形式	極座標の表し方を学ぶ。	classiの数学Cの複素数平面の基礎コースの動画を視聴 2. 複素数の極形式と乗法, 除法 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形	11 12	
			4	4 ド・モアブルの定理	ド・モアブルの定理について学ぶ。			
			5	5 図形への応用	複素数の図形への応用について学ぶ。			
第1章 平面上のベクトル	2次曲線	5	1	1 放物線	放物線の定義より標準形について学ぶ。	classiの数学Cの平面上の曲線の基礎コースの動画を視聴 1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線	13 14	
			2	2 楕円	楕円の定義より標準形について学ぶ。			
			3	3 双曲線	双曲線の定義より標準形について学ぶ。			
		6	4	4 2次曲線の平行移動	2次曲線の平行移動について学ぶ。	classiの数学Cの平面上の曲線の基礎コースの動画を視聴 4. 2次曲線の平行移動 5. 2次曲線と直線 6. 2次曲線の性質	15	
			5	5 2次曲線と直線	2次曲線の直線の関係について学ぶ。			
	媒介変数表示と極座標	6	1	1 媒介変数表示	2次曲線の媒介変数表示を学ぶ。	classiの数学Cの平面上の曲線の基礎コースの動画を視聴 7. 曲線の媒介変数表示	16	
			2	2 極座標	直交座標と極座標の関係を学ぶ。	classiの数学Cの平面上の曲線の基礎コースの動画を視聴 8. 極座標と極方程式	17 18	
			3	3 極方程式	極方程式を図を用いて表現することを学ぶ。			

レポート提出目標

1回目・・・5月下旬 2回目・・・6月下旬 3回目・・・7月下旬 4回目・・・10月下旬 5回目・・・11月中旬 6回目・・・12月中旬